



< 和名ヶ谷の風 「一生モノ」のウェルビーイングを — 春の熱戦を終えて — >

校長 岡本 弘次

新緑が目まぶしく、爽やかな風が校庭を吹き抜ける季節となりました。

先月行われた春の大会では、和名ヶ谷中学校の生徒たちの「挑戦する姿」に多くの感動をもらいました。1回戦を突破し勢いに乗った部活、最後まで果敢に攻め続け、見事に県大会への切符を手にしたチーム。一方で、惜しくも途中で涙をのんだ部活もありました。

勝敗という結果は出ますが、何より嬉しく感じたのは、皆さんがそれぞれの場所で「自分たちの役割」を一生懸命に果たそうとしていたことです。この素晴らしい陽気の中で、皆さんが生き生きと活動する姿は、学校全体の活力となっています。



「幸福」のヒントはどこにある？

さて、今朝のニュースで気になる報道がありました。「先進7カ国（G7）の中で、日本人の幸福度が最も低い」という内容です。皆さんはこの結果をどう感じるでしょうか。

最近、「ウェルビーイング（Well-being）」という言葉をよく耳にするようになりました。これは、一時的な「ラッキー！」という喜びだけでなく、心も体も、そして社会とのつながりも、持続的に「満たされた状態」であることを指します。

私は、皆さんが今取り組んでいる部活動やスポーツ、文化活動こそが、このウェルビーイングを高める鍵だと考えています。中学生の今だけでなく、大人になっても、生涯にわたって何かに夢中になったり、仲間と汗を流したりすることは、人生を豊かにする大きな力になります。

「コンテクスト」を読み解くリーダーへ

5月からは、生徒会、各委員会や学級活動も本格的に動き出します。ここで皆さんに意識してほしいのが、「コンテクスト（背景・文脈）」を大切にすることです。

人との関わりにおいて、ただ自分の意見を伝えるだけでなく、「なぜ相手はそう言ったのか」「今のクラスの状況はどうなっているのか」といった、目に見えない背景（コンテクスト）を汲み取ることが、本当の意味での「思いやり」や「協力」につながります。

特にリーダーとして活動する皆さんは、この「文脈」を捉える力を養ってください。

- ・ 「温かな挨拶」で相手の心の扉を開くこと。
 - ・ 「仲間を大切にすること」で、一人ではできない大きな目標を達成すること。
- これらは、私が大切にしている和名ヶ谷中学校の柱です。

結びに

今の頑張りや、すべて未来の皆さんの「幸福（ウェルビーイング）」につながっています。勉強も、行事も、部活動も。目の前の結果に一喜一憂するだけでなく、「仲間と共に歩むプロセス」そのものを楽しみ、豊かな5月を過ごしていきましょう。

新入生歓迎会

ようこそ和名ヶ谷中学校へ！上級生からの歓迎の発表が披露されました。他にも生徒会活動・部活動の紹介がありました。1年生もお礼の発表を行いました。

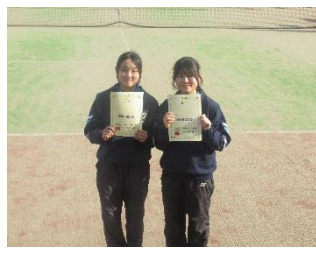


授業の様子

1年生は中学校生活での授業が始まりました。2・3年生は、担当の先生が変わった教科もあり、また学習の内容も難しくなっていきます。毎日の学習をしっかりと取り組んでいきましょう。



部活動の活躍



熱中症により救急搬送される方の数は、例年、5月頃から発生し、梅雨明け後に急増します。

熱中症は一人一人が早い段階で注意すれば、予防することができます。

暑い日は無理をせず、エアコンや扇風機を上手に使い、小まめに水分を取りましょう。

【千葉県ホームページ 熱中症予防のページから一部抜粋】

【5月の主な行事】 9日(土)授業参観 保護者会総会 部活動保護者会 11日(月)振替休業
13日(水) 体育祭団結式・小中学校体育大会 21日(木) 体育祭